

「発見しよう！親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアーin 相馬・新地」を開催しました。

(企画部)

県では、安全な農林水産物を消費者に提供するため、米の放射性物質の全量全袋検査等を行い数値を示しています。

このツアーは、生産者の皆さんとの交流や収穫体験などを通して、相馬地方の農林水物に対する安心を深めてもらうことを目的に、親子を対象に令和2年2月16日（日）を開催しました。

ツアーには、小学生と保護者14組32名が参加し、新地町のきのこ栽培農家では、「原発事故後は原木の仕入れが難しく、今年は岩手県から仕入れをした。」などの説明があり、参加者は原木シイタケの貴重さを学んでいました。

次に、相馬市の鵜ノ尾岬を訪れ、海岸防災林の復旧状況を見学しました。その後、同市の和田観光苺組合に移動し、ハウス栽培によるいちごの収穫を体験しました。収穫に先立ち、和田観光苺組合長から、「震災で約6割の施設が水没し、原発事故の風評被害も深刻だったが、いちご農家が観光の復活を目指して集まり、平成24年度には活動を再開した。」などの説明があり、参加者は震災後の苦労について学んでいました。

午後からは同市の大野公民館において、収穫したいちごを使いスイーツづくりを行いました。参加者は地元産のいちごのおいしさを改めて感じているようでした。

参加者からは、「シイタケ農家さんを見学して、震災後の原木の仕入れに苦労している事を知り貴重な原木シイタケだと感じた。」、「生産者の方と直に話しができる良い機会であった。」、「子供だけでなく親も楽しみながら復興について考えさせられた。農作物を安心して口にできる。」などの感想があり、貴重な体験であったことがうかがえました。



原木シイタケの植菌作業



いちごの収穫体験

※双葉地方においても親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアーを企画しましたが、台風19号の影響により中止となりました。